

編集後記

雑誌名	三重看護学誌
巻	12
発行年	2010-03-20
URL	http://hdl.handle.net/10076/11371

編集後記

三重看護学誌（MNJ）第12巻、無事、発行の運びとなりました。これもひとえに、ご執筆いただいた方々、お忙しいなか査読してくださった先生方、原稿のとりまとめなど細やかなサポートをしてくださった事務の方々のご協力があったからこそ、編集委員一同、心より感謝申し上げます。

本号では、総説1編、原著3編、報告4編、資料4編、合計12編に上るご投稿をいただき、昨年悩まされた原稿不足病から回復することができました。ところが、原稿が多かったがために今度は、原著として求めるレベルはどれくらいか、どのようにして査読者間の格差をなくすのか、という問題が浮上してきました。これは、MNJのあり方や編集委員会の位置づけを問われる大きな問題であります。来年度への宿題とさせていただきますと思っています。

今年から新カリキュラムが始まったわけですが、保険看法改正に伴う次のカリキュラム改正も視野に入れないと、看護教育界も激動の時代となってきます。けれども大学という場で教育と研究は車の両輪のようなものだと思います。MNJがその支えとなり、看護学科とともに発展していくことを祈念しております。

（文責：大西香代子）